



試 験 報 告 書

発行番号：品性第18C0013号

発行日：平成30年5月31日

依頼者

株式会社ANCHOR BIRDS

静岡県焼津市石脇上615-1

試験名称

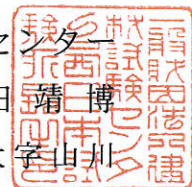
金属系あと施工アンカーの引張試験

標記試験の結果はこの文書のとおりです。

一般財団法人建材試験センター

西日本試験所長 流田 靖二 博

山口県山陽小野田市大字山川

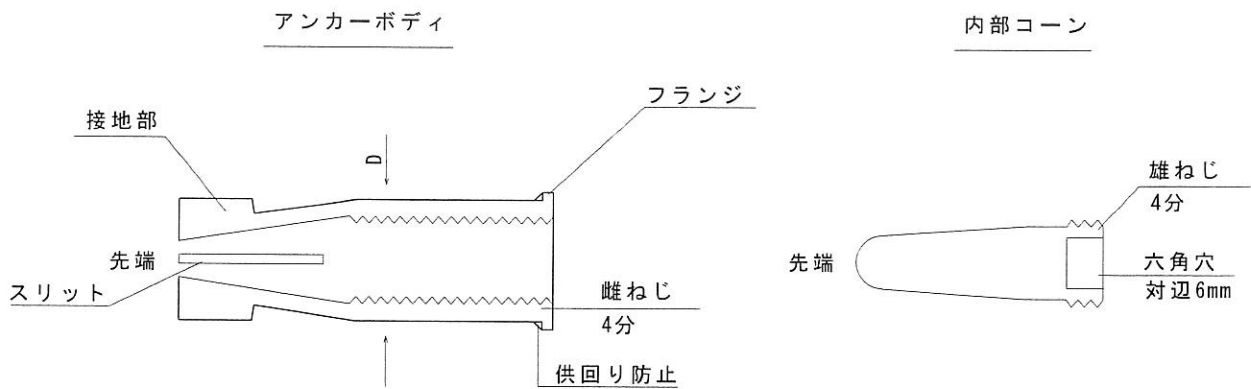
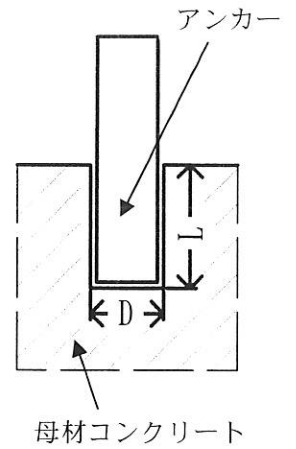


品質性能試験報告書

試験名称	金属系あと施工アンカーの引張試験									
依頼者	株式会社 ANCHOR BIRDS									
試験体 (依頼者 提出資料)	試験項目	試験体記号	アンカー			穿孔		全ねじボルト (接合筋)		数量 本
			全長mm	本体径mm	材質	深さ	径	ねじの呼び	材質	
	引張	T	52	φ16.8	鋼製	表-1 参照		1/2-13 UNC	SS400	5
	参 照：表-1 (穿孔深さ及び穿孔径) 図-1 (アンカーの詳細) 図-2 (アンカーの埋め込み位置)									
試験方法	<p>準拠規格：あと施工アンカー標準試験方法・同解説 (一般社団法人 日本建築あと施工アンカー協会)</p> <p>加力装置：センターホール型油圧ジャッキ，センターホール型ロードセル(容量：100kN)，反力台，鋼板，球座，テンションバー</p> <p>測定装置：電気式変位計(容量：50mm，感度：200×10⁻⁶/mm，非直線性：0.1%R0)，データロガー</p> <p>参 照：写真-1 (試験実施状況)</p>									
試験結果	試験項目	試験体記号	最大荷重時				破壊 モード	母材コンクリートの 圧縮強度* (σ _c) N/mm ²		
			荷重 (P _{max}) kN		変位 (δ _{max}) mm					
	引張	T-1	25.8	2.3		A	22.6			
		T-2	25.8	2.7		A				
		T-3	27.6	3.5		A				
		T-4	24.0	3.4		A				
		T-5	25.9	2.4		A				
平均		25.8	2.9		-	-				
	<p>注) 1. 破壊モード欄の記号は，次の内容を示す。 A：コーン状破壊 B：アンカー抜け C：アンカー破断 D：接合筋破断</p> <p>2. *は，母材打設時に作製した，試験体(φ100×200mm)3本の平均値を示す。</p> <p>参 照：図-3 (荷重-変位曲線) 写真-2～写真-6 (破壊状況)</p>									
試験日	平成30年 5月 1日									
担当者	<p>試験課長 矢 埜 和 彦 早 崎 洋 一 (主担当) 森 田 洋 介 品 末 竹 彦</p>									
試験場所	西日本試験所 山口県山陽小野田市大字山川 TEL 0836-72-1223									

表-1 穿孔深さ及び穿孔径

試験体記号	穿孔深さ L (mm)			穿孔径 D (mm)		
	1	2	平均	1	2	平均
T-1	55.4	56.0	55.7	18.1	18.1	18.1
T-2	57.9	57.9	57.9	18.1	18.0	18.1
T-3	57.5	57.0	57.3	18.1	18.3	18.2
T-4	56.3	55.5	55.9	18.0	17.9	18.0
T-5	57.5	57.9	57.7	17.9	18.0	18.0

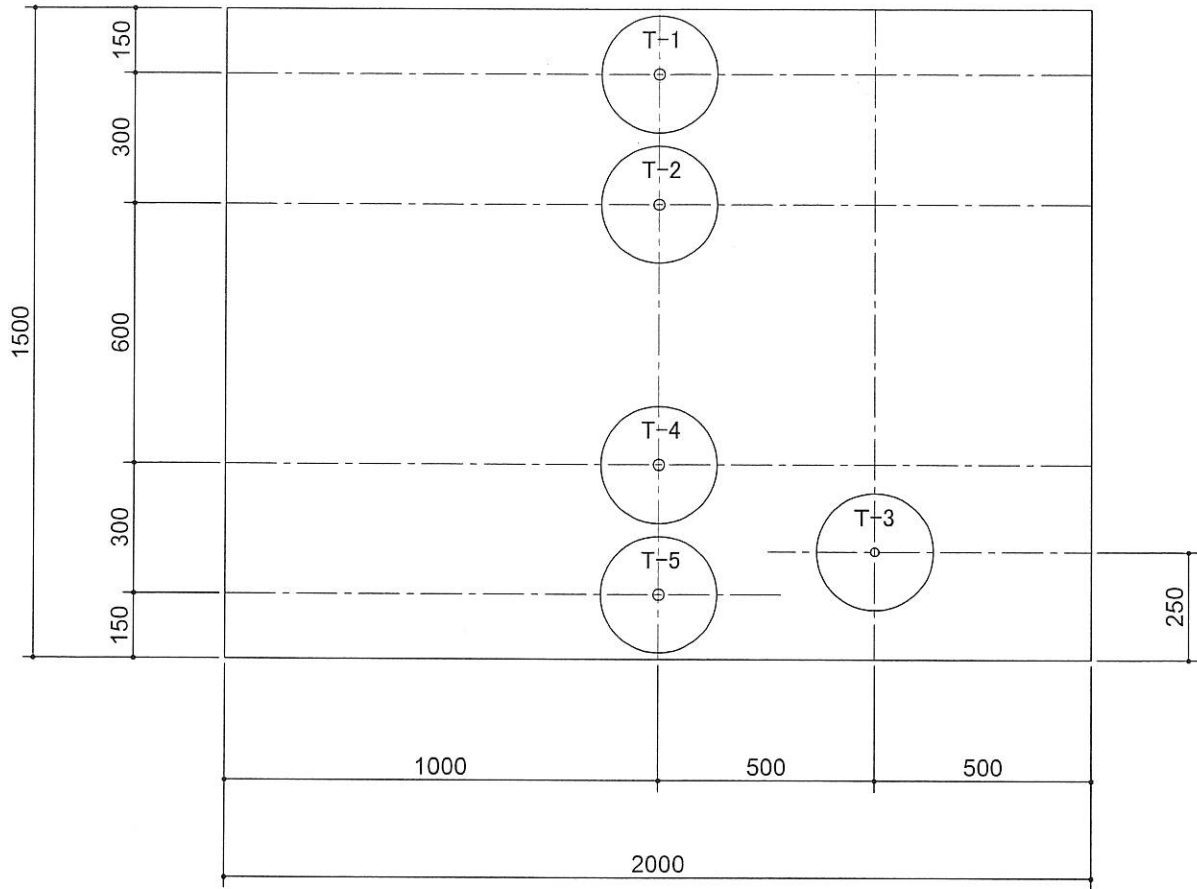


試験体記号	コーンの締付トルク値 N/m
T-1	30.5
T-2	30.0
T-3	31.8
T-4	32.5
T-5	31.9

(依頼者提出資料)

図-1 アンカーの詳細

単位 mm



※図中の○は、支持板の非拘束範囲を示す。

(依頼者提出資料)

図-2 アンカーの埋め込み位置

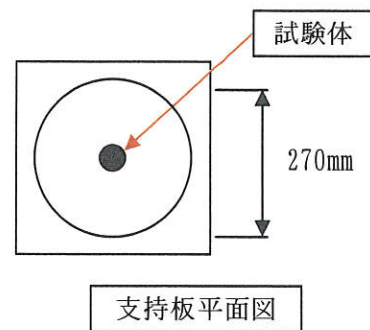
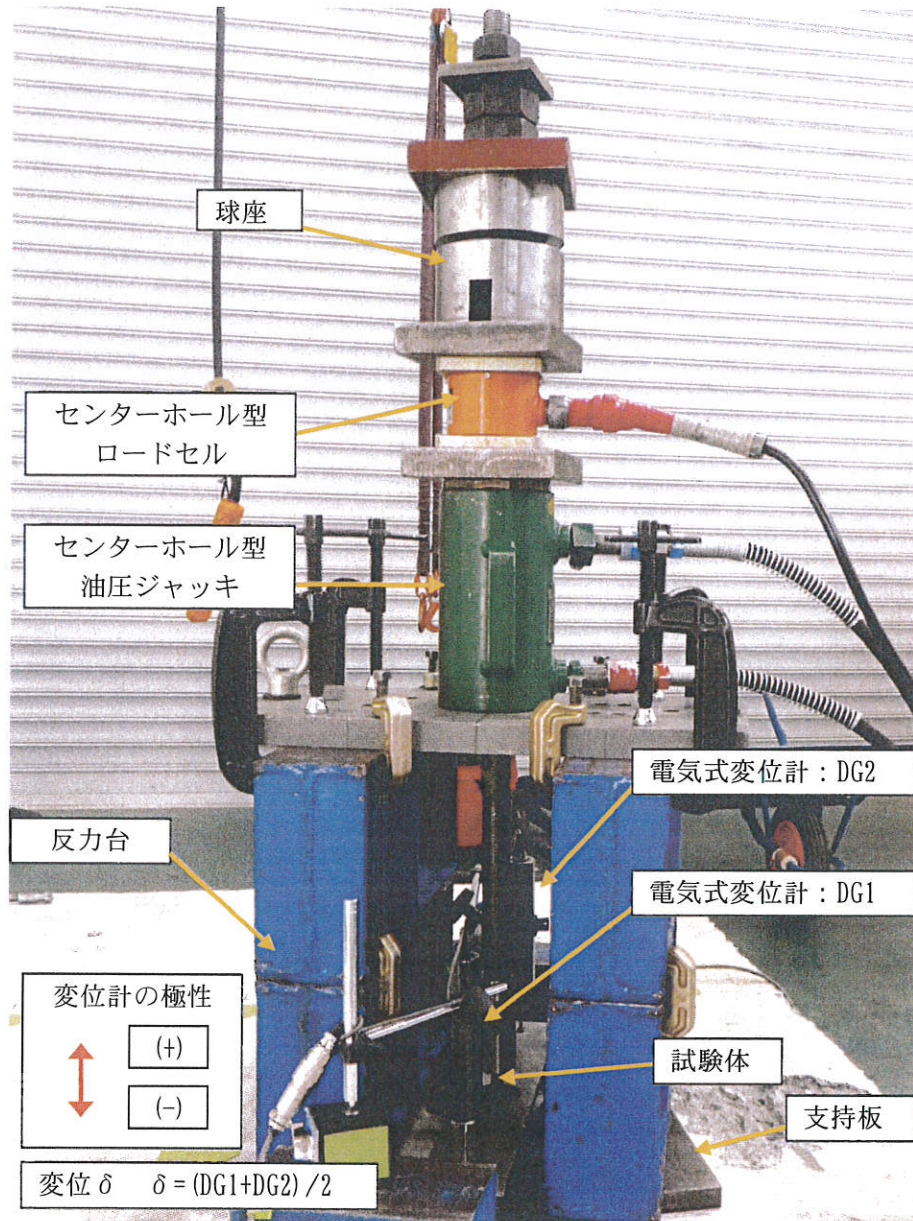


写真-1 試験実施状況

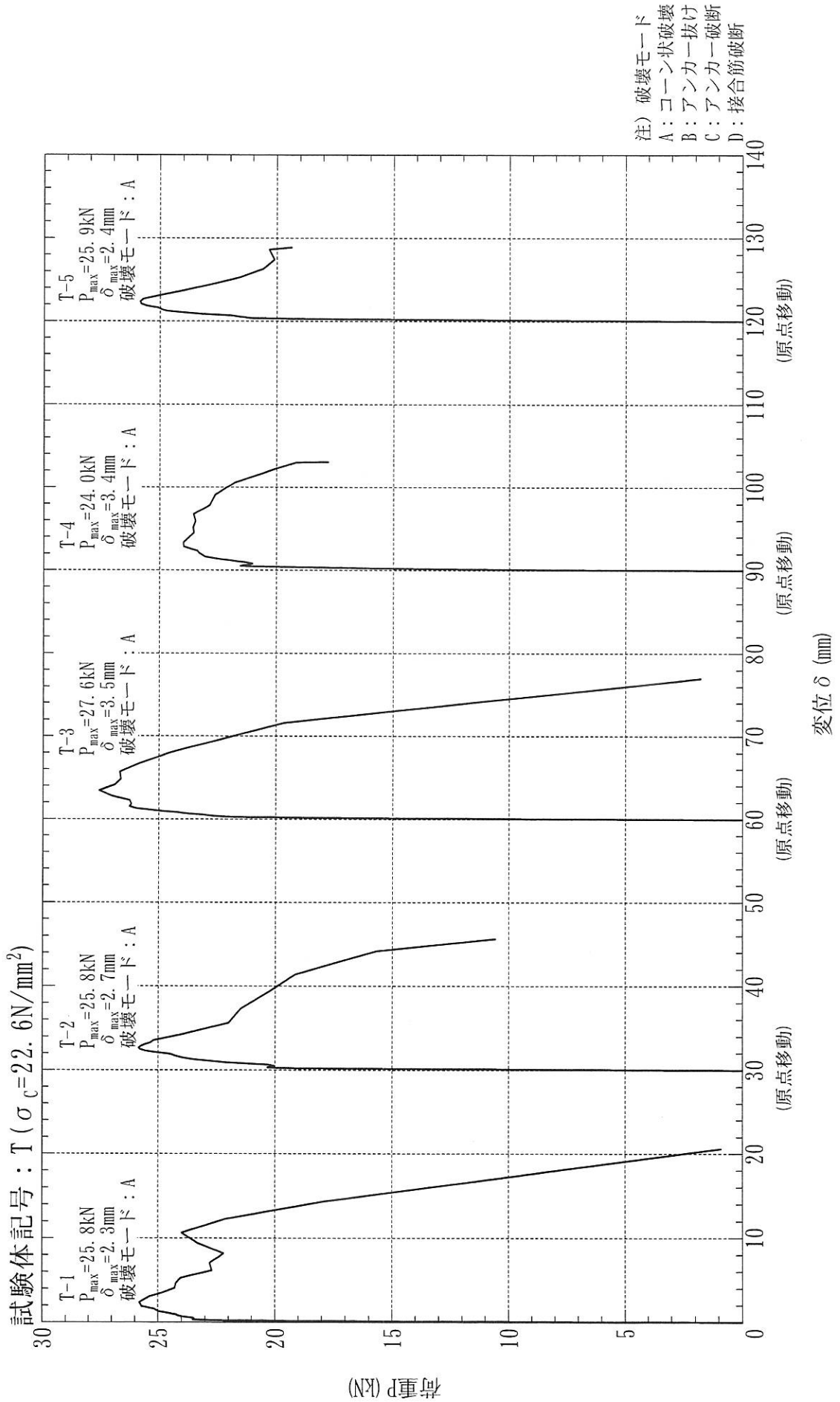


図-3 荷重-変位曲線



写真-2 破壊状況
試験体記号：T-1
最大荷重：25.8kN
A：コーン状破壊



写真-3 破壊状況
試験体記号：T-2
最大荷重：25.8kN
A：コーン状破壊



写真-4 破壊状況
試験体記号：T-3
最大荷重：27.6kN
A：コーン状破壊



写真-5 破壊状況
試験体記号：T-4
最大荷重：24.0kN
A：コーン状破壊



写真-6 破壊状況
試験体記号：T-5
最大荷重：25.9kN
A：コーン状破壊